

シルバーカレッジ 講義概要（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1年	場所	学習室1・2
テーマ	蘇る青春の日々をシルバーカレッジで				
講師	元神戸市外国語大学教授 和田幸子				
<p>講義内容</p> <p>本シルバーカレッジには“再び学んで他のために”というすてきな座右の銘があります。国際協力コースの皆さんの中には、急速に変化する国際社会のあり方についてもう一度学び直し、シルバー世代の新たな社会的役わりを確認したいと考えておられる方もおられるかも知れません。</p> <p>本講義のポイントは以下の3点です。</p> <p>① 変化する今日の国際社会のシステムについて考える。</p> <p>② 地球環境の悪化と国際社会の対応を知る。</p> <p>③ 高齢者の位置づけの変化について</p> <p>人口減少社会の中で高齢者の相対的割合は増大しており、積極的に社会の一員としての役割を担っています。「他のために学ぶ」ことの意味を考え、カレッジでできたフレッシュな友人たちと歩きだしましょう。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>国際協力コースの皆さんは、できるだけ広く世界に眼を向け、毎日の国際情勢の変化などにも関心をもって暮らすようにしたいものですね。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

コース・専攻	国際交流・協力	対象学年	1年	場所	学習室1・2
テーマ	「国際関係の現在」と「国際関係の歴史」				
講師	同志社大学教授 月村太郎				
<p>講義内容</p> <p>現在の国際関係の特徴はグローバル化と纏めることができます。グローバル化とは国境を越えて、「ヒト・モノ・カネ」がかつてない程に迅速かつ大量に行き来をする現象を指します。様々な制度も、国境を跨いで移出入されるようになってきました。「国際関係の現在」では、現代の国際関係の特徴を概説した後に、グローバル化の中身を具体的に説明し、グローバル化をめぐる言説を幾つか紹介します。そして、グローバル化時代の国際関係における大きな流れを統合と分裂と措定し、それぞれの事例を見ていきます。「国際関係の歴史」では、国際関係がどのように変わってきたかについて、ヨーロッパを事例として、特に「ヨーロッパの火薬庫」と言われてきたバルカン地域を中心に、近代から現在までたどっていきます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>国際関係の未来を考えるには、現在を見つめ、過去を振り返ることが必要です。この講義がその機会になりますように、皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1 年	場所	学習室1・2
テーマ	文化人類学と異文化理解—オセアニア世界と例として				
講師	神戸大学名誉教授 吉岡政徳				
<p>講義内容</p> <p>我々は無意識のうちに、自分の生れ育った社会における文化的価値観を身につけ、それを規準にして他の社会を見てしまいます。しかし文化人類学的な考え方は、“我々の無意識下には常に自分の文化中心の物の見方が潜んでいる”ということをしつかりと意識するところから始まります。本講義では、この様なものの見方＝自文化中心主義を批判しながら、オセアニア（太平洋）世界を例にして、文化人類学的な考え方を学んでいきます。オセアニアは、他のどの地域にも増して「浮世離れした」楽園や秘境のイメージで語られることが多いのですが、そうしたイメージも私たちが内に持っている自文化中心主義による偏見のなせるわざであり、現実には、オセアニアも我々日本と同じ時代を生きているのだ、ということの説明していこうと思います。</p> <p>授業の内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 文化人類学とは</li> <li>2) 常識を疑う</li> <li>3) 楽園と秘境</li> <li>4) マスメディアに描かれた異文化の嘘</li> <li>5) オセアニアの人々と国々</li> <li>6) 階層の頂点に立つ首長、王             <ol style="list-style-type: none"> <li>7) 成りあがる政治的リーダー：ビッグマン</li> </ol> </li> </ol>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>不明な点、疑問が湧いたら、すぐに質問をしてください。いつでも、話の途中でも、受け付けます。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際・協力コース）

項 目	国際交流・協力	対象学年	1 年	場所	学習室 1・2
テーマ	英語点字の基礎				
講 師	英語点字講師 今田 紘、吉本 清二				
<p>講義内容</p> <p>実習を主体とした講義で、以下の項目について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 視覚障がい者の状況 視覚障がい者と晴眼者、視覚障害とは、視覚障がい者への接し方</li> <li>2 点字の歴史</li> <li>3 点字の概要</li> <li>4 点字を書く器具</li> <li>5 点字の書き方・読み方</li> <li>6 点字の表記 アルファベット、数字、単語、文章の書き方 記号類の書き方</li> </ol>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>簡単な英文のエッセイを点字で書くことによって、点字の概要を理解するとともに、視力障がい者への接し方を学ぶ。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1 年	場所	学習室1・2
テーマ	日本語のコミュニケーション ―その難しさと面白さ―				
講師	元園田学園女子大学教授 黒崎良昭				
<p>講義内容</p> <p><b>1 日本語のあいさつ表現</b></p> <p>1-1 「おはよう」と「こんにちは」 1-2 「ありがとう」 1-3 「さようなら」          1-4 「この前はご馳走様でした」 1-5 「また遊びに来て下さい」          1-6 「ご苦労様」と「お疲れ様」          1-7 「いらっしゃいませ」と「ありがとうございました」          1-8 「いただきます」と「ご馳走様でした」          1-9 「お茶が入りました」 1-10 「お出かけですか？」          1-11 「どうも」と「すみません」 1-12 「何もありませんが」          1-13 日本語のあいさつ表現の特徴</p> <p><b>2 日本語の呼称</b></p> <p>2-1 呼称七変化 2-2 多様な自称語          2-3 対称語の変化と問題点 2-4 「あなた」はなぜ使いにくい？          2-5 「おまえ」はなぜ使いにくい？ 2-6 代わりの対称語は？</p> <p><b>3 日本語コミュニケーションのテクニック</b></p> <p>3-1 話し上手は聞き上手 3-2 相づち 3-3 共話、先取り          3-4 オドロキの応答表現 3-5 ためらいの表現 3-6 あいまい表現</p> <p><b>4 日本語の敬語表現</b></p> <p>4-1 「現代の敬語」とは          4-2 最近の敬語「バイト敬語」（マニュアル敬語・ファミレス敬語）          4-3 文化審議会答申「敬語の指針」から</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>日本語の話しことばに関する疑問や問題点、意見を準備してください。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1年	場所	学習室1・2
テーマ	日本語の教え方①②				
講師	園田学園女子大学人間教育学部教授 川上 恭子				
<p>講義内容</p> <p>日本語を母語としない日本語学習者（外国人や帰国子女など）に、どのような日本語を、いかに教えるか、その基本を勉強します。</p> <p>具体的には、次のような内容で、日本語を日本語だけで教える方法の基礎を学んでいきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本にいる学習者の状況</li> <li>(2) 日本語学習者が必要な日本語とは？</li> <li>(3) 日本語は、何から教える？</li> <li>(4) 日本語はどう教えるの？</li> <li>(5) 日本語の特徴を知る</li> </ol>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>近年、外国人旅行者やビジネスマン、留学生などが増え、それにもなって日本語学習者が一気に増加しています。</p> <p>国際社会の動きを敏感にキャッチしながら、皆さんにはぜひ、日本国内にいる日本語学習者に、日本語を教えて助けるサポーターになっていただけたらと思います。</p>					



シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1年	場所	学習室1・2ほか
テーマ	留学生との交流授業				
講師	神戸市外国語大学留学生				
<p>講義内容</p> <p>神戸市外国語大学の留学生との日本語によるグループ別の懇談会で、留学生一人に対し、学生数10人未満の少人数による質疑応答形式により、交流を目的として行います。</p> <p>特にテーマは設けず、留学生の出身国・地域、大学での専攻学科などに関する留学生からのプレゼンテーションを受けて、スタートします。午前と午後で留学生が入れ替わり、例年若い留学生との約45分間（午前・午後とも）の楽しい会話が中心となっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 留学生による自己紹介</li> <li>② 各グループに分かれて指定された教室で交流Ⅰ</li> <li>③ 昼休み</li> <li>④ 午前とは別の留学生と指定された教室で交流Ⅱ</li> <li>⑤ 交流Ⅱ終了後、学習室1・2に集合し、留学生及び学生による感想披露を意見交換</li> </ol>					
<p>コーディネーターからのメッセージ</p> <p>20歳前後の若い留学生との少人数による会話は毎年盛り上がったものになっており、これまでのイメージと異なる内容を学習することができるとともに、外国人と直接会話することの楽しさを実感できます。日本語での会話ですので、ご安心下さい。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1年	場所	国立民族学博物館
テーマ	校外学習（国立民族学博物館）				
講師	国立民族学博物館長				
<p>講義内容</p> <p>① 館長による講義（PPTを使用）</p> <p>2017年3月に「アイヌの文化」展示が新しくオープンし、これまで9年越しで進めてこられた国立民族学博物館（みんぱく）の常設展示の全面改修が完了しました。みんぱくの研究者にとって、展示活動も研究プロセスの一部です。館長ご自身は、その最初の年、アフリカ展示の改修に直接かかわり、その後も一連の展示場改修のコーディネーターの役を務めてこられました。世界各地でのフィールドワークから、展示資料の収集、展示のプラン作り、そして新しい展示の実現まで、文化を表象する展示という作業の醍醐味と魅力について講義が行われます。</p> <p>② 世界最大規模の所蔵品を誇る「国立民族学博物館」の自由見学</p>					
<p>コーディネーターからのメッセージ</p> <p>国立民族学博物館（みんぱく）は、世界最大級の博物館機能と、大学院教育の機能を備えた、文化人類学・民族学の研究所として、世界で唯一の存在です。さまざまな人びとの知的交流と発見、協働の場、つまり知のフォーラムを、これまで以上に充実したかたちで実現しようとされています。館長による講義とリニューアルされた展示は、国際理解への一助となります。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1年	場所	学習室 1.2
テーマ	ふれてみよう中国語				
講師	神戸学院大学中国語非常勤講師 王 彩麗				
<p>講義内容</p> <p>第1回</p> <p>(1) <b>中国語概論</b></p> <p>(2) <b>中国語</b>の発音練習① 単母音、子音①</p> <p>(3) <b>なぞとき中国語①</b> 日本語の繁体字と中国語の簡体字</p> <p>(4) <b>簡単な挨拶用語①</b></p> <p>(5) 歌の鑑賞</p> <p>第2回</p> <p>(1) 前回の発音の復習</p> <p>(2) <b>中国語</b>の発音練習② 複合母音、子音②</p> <p>(3) <b>なぞとき中国語②</b> オリンピック競技項目の中国語</p> <p>(4) <b>簡単な挨拶用語②</b></p> <p>(5) 歌の鑑賞</p> <p>第3回</p> <p>(1) 前回までの発音の復習</p> <p>(2) 中国語の発音練習③ 鼻母音</p> <p>(3) <b>なぞとき中国語③</b> 日本語と中国語の同型異義語</p> <p>(4) <b>簡単な挨拶用語③</b></p> <p>(5) 中国語で漢詩を読んでみよう</p> <p>(6) 中国語の歌を歌ってみよう</p> <p>第4回</p> <p>(1) 前回まで発音の復習と今後の中国語勉強のアドバイス</p> <p>(2) 中国語で数字を言ってみよう。</p> <p>(3) <b>なぞとき中国語④</b> 中国語の外来語</p> <p>(4) <b>簡単な挨拶用語④</b></p> <p>(5) 中国語で漢詩を読んでみよう</p> <p>(6) 中国語の歌を歌ってみよう</p> <p>(7)</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>「面白い授業でした。この講座を通じて、中国語への興味が倍増しました。」「初心者ながらも少しずつ理解できました。」…これは中国語講義に参加した方々の声です。中国語で漢詩を朗読したり中国語の歌を歌ったりして中国語の発音を楽しく学ぶ授業です。また、中国の歴史、文化、生活習慣、今どきの中国情報等にも触れます。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	1 年	場所	学習室1・2
テーマ	ふれてみよう韓国語①、②				
講師	神戸女子大学非常勤講師 権珍嬉				
<p>講義内容</p> <p>ふれてみよう韓国語の講義では、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 韓国語の文字（ハングル）や基本的な文法を学習し、簡単な日常会話表現を駆使してみます。</li> <li>2) 韓国語を通して、韓国文化を体験し、韓国文化への理解を図ります。</li> </ol> <p>その内容は、韓国語の文字であるハングルの成り立ちをはじめ、その読み方、書き方などハングルの基本構造を学習します。ハングルを用いて名前や住所などを書いてみます。また、韓国語の基本文型や語彙などを学習します。日常生活でよく使われる慣用的表現を駆使して、簡単なあいさつや自己紹介、買い物のシーンを会話練習します。韓国語の文章作りにも挑戦してみます。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>韓国語を読んだり、書いてみたり、話してみたりしながら、言葉を通して韓国を感じてみてください。</p>					



シルバーカレッジ 講義概要 (シラバス) (国際交流・協力コース)

項目	国際	対象学年	1年	場所	学習室1・2
テーマ	世界の宗教				
講師	小澤 輝郎 (元武庫川女子大学教授)				
講義内容					
<p>1章 起源 ユダヤ教 キリスト教 イスラム教 ヒンズー教 仏教 バラモン教 ゴロアスター教 ジャイナ教 儒教 道教 シーク教 神道 マナ アミニズム アニマテイズム シャーマニズム</p> <p>2章 宗教の分布 アジア(47国) 欧州(45国) アフリカ(53国) 北米(23国) 南米(12国) 大洋州(14国) 計世界 194国における各宗教の分布状況</p> <p>3章 ユダヤ教 ・ヤハウエ ノア アブラハム モーゼ サウル ダビデ ソロモン ヘロデ ・シオニズム運動 マクマホン宣言 バルフォア宣言 ・ミッシヨナ タルムード シナイ契約 ダビデ契約 戒律 シャバット トレイフ コッシュェル</p> <p>4章 キリスト教 ・キリスト ユダヤ教洗礼 処刑 ドロローサ ゴルゴダ セパルクル 復活 昇天 ・旧約聖書 新約聖書 ・正教会 → ローマカソリック // ルーテル → カルビン / ヘンリー八世 // ユニテリアン → メノナイト → バプテスト → ブラウン → メソ ジスト → アドベント → ペンテコステ ・ J. スミス / C. ラッセル / 金百文</p> <p>5章 イスラム教 ・ムハンマド→ウスマン→アリ→フサイン ・スンニ派 シーア派 ・ファハタ/ハマス/インティファダ/ヒズボラ/アマル/タリバン/アルカイダ/ ジェマイスラミーア ・クルアーン ・アルカーン ハラーム/ハラル ジハード ラマダン ファトア マタワイン アイーブ タイズ シズヤ マスジド メドレセ</p> <p>6章 ヒンズー教 ・アーリア教 バラモン教 ・ブラフマン ビシュヌ シバ ・ビシュヌ派 シバ派 ・カースト ノブリスオブリージ ムクテイバワン</p> <p>7章 仏教 ・釈迦 ・三蔵 ・小乗仏教 大乘仏教 ・奈良仏教(法相/華嚴/律) 平安仏教(天台/ 真言/臨済/浄土) 鎌倉仏教(浄土真/曹洞/日蓮/時) 江戸仏教(黄檗) ・如来 菩薩 天/王/神将</p> <p>8章 神道 ・稲荷 八幡 神明 天満 ・天理 金光 実行 出雲大社 扶桑 神道大 黒住 御嶽 神道 修成 大成 神理 神習 禊</p> <p>9章 その他 ・ゴロアスター / ジャイナ / 儒教 / 道教 / シーク / 等</p>					
講師よりメッセージ					
世界中で少しでも宗教に無関心、無関係の人はいない。宗教の基にある考え方、生き方を理解する事が必要である。					